別紙様式２号

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

Ⅰ　産地競争力の強化を目的とする取組用

（愛媛県　令和３年度）

市町村名	事業実施主体名	メニュー①（対象作物・畜種等名）①	類別	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①									成果目標の具体的な実績①	メニュー②（対象作物・畜種等名）②	類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②									成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円）				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
								計画時（平成29年）	１年後（令和元年）	２年後（令和２年）	３年後（令和３年）	目標値（令和３年）	達成率							計画時（平成29年）	１年後（令和元年）	２年後（令和２年）	３年後（令和３年）	目標値（令和３年）	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
松山市	えひめ中央農業協同組合	果樹(かんきつ)	105	全出荷量に占めるブランド品の出荷割合を30.1ポイント増加				ブランド品の出荷割合45.5% ブランド品出荷量1,122.0t/全出荷量2,465.8t	ブランド品の出荷割合48.4% ブランド品出荷量1,057.3t/全出荷量2,184.1t	ブランド品の出荷割合55.4% ブランド品出荷量1,227.2t/全出荷量2,214.5t	ブランド品の出荷割合52.7% ブランド品出荷量1,059.6t/全出荷量2,009.6t	ブランド品の出荷割合75.6% ブランド品出荷量1,833.0t/全出荷量2,425.8t	23.9%	全出荷量に占めるブランド品の出荷割合が7.2ポイント増加した	果樹(かんきつ)	106	全出荷量に占める果樹産地構造改革計画における振興品種の出荷割合を15.1ポイント増加			振興品種の出荷割合81.2% 振興品種出荷量2,002.5t/全出荷量2,465.8t	振興品種の出荷割合84.5% 振興品種出荷量1,845.3t/全出荷量2,184.1t	振興品種の出荷割合86.6% 振興品種出荷量1,917.8t/全出荷量2,214.5t	振興品種の出荷割合85.3% 振興品種出荷量1,714.8t/全出荷量2,009.6t	振興品種の出荷割合96.3% 振興品種出荷量2,335.3t/出荷量2,425.8t	27.1%	振興品種の出荷割合が4.1ポイント増加した	集出荷貯蔵施設 選果ライン一式 ・腐敗センサー ・外部センサー ・内部センサー ・玉数検査装置 年間処理量2,425.8ｔ	253,000,000	115,000,000	0	13,869,000	124,131,000	R元.11.14	当事業によって、果実の選果機による傷みの発生が無く外観及び内部品質の測定精度が上がった事で市場評価が高まると共に、商品の玉数相違が無くなりクレームが減った。 しかし、8月～9月の長雨による品質低下や高温乾燥による小玉果・日焼け果の増加など気象の影響や、甘平の裂果対策が未だ確立されていない事等によって、ブランド品や振興品種の出荷割合が伸び悩んでいる。 このため、関係機関と連携し、肥培管理の徹底、マルチ栽培の推進等の高品質化に取組むとともに、改植・早期成園化や甘平の裂果対策の確立を進めることで、ブランド品及び振興品種の出荷割合の向上を図る。	施設柑橘エリア指導体制のもとエリア技術員による月１回の園地巡回指導を徹底する事により、ブランド産品の出荷割合が7.2%、振興品種の出荷割合が4.1%に増加したが、いずれも目標未達成となった。 その主な要因は、①ブランド産品である「甘平」の裂果対策が確立できず、生産量が伸び悩んだこと、②「愛果28号」及び「せとか」は、平年に比べて8月～9月の長雨による品質低下により高品質果実が減少したことである。 また、当該選果場への持ち込みは高品質果実が中心のため、上記要因により出荷量が減少している。 今後は、県の研究機関や普及組織と連携し、裂果対策等の技術確立や適切な栽培管理、振興品種への改植、早期成園化等の指導を徹底し、目標達成を目指す。	